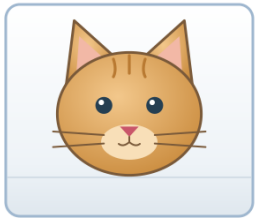
AIは確からしさで答える（いちばんありそうな答えを選ぶ）

AIは、どのようにして答えを1つに決めているのだろう

このAIは、「ねこ」と「いぬ」の写真をたくさん学んでいる。答えは「ねこ」か「いぬ」のどちらか。

1 はっきりした写真



AI 確からしさ

ねこ	95%
いぬ	5%

○ 答え：ねこ （いちばん高い）

数字の差が大きい
→ 答えが正しいことが多い

2 にている写真



AI 確からしさ

ねこ	52%
いぬ	48%

✕ 答え：ねこ （いちばん高い）

数字が近い
→ まちがえやすい
（正しくは、いぬ）

3 学んでいないもの



AI 確からしさ

ねこ	60%
いぬ	40%

✕ 答え：ねこ （いちばん高い）

学んだ答えの中から
選ぶので、「うさぎ」とは
答えられない

AIの答えは「いちばんありそうなもの」。数字が近いときや、学んでいないものは、人が確かめる。

※ 確からしさの数は架空。動物の絵は写真の代わりの模式。